

令和7年度中野区学力向上の方策等について

1 学力向上について

「中野区教育ビジョン（第4次）」では、「一人ひとりの可能性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む」という教育理念を掲げ、目標Ⅱ「子どもたち一人ひとりが意欲的に学び、社会で生き抜くための確かな学力を身に付け、個性や可能性を伸ばしている」を設定している。一人ひとりの可能性を最大限に生かす教育を推進する中で子どもたちが基礎的・基本的な「知識及び技能」を習得し、これらを活用する学習をとおして「思考力・判断力・表現力等」や「学びに向かう力、人間性等」を身に付けるとともに、自分らしく学び続ける姿を目指している。

2 令和7年度「中野区学力に関わる調査」から見る実態について

(1) 対象学年及び教科等

※調査範囲は前年度の学習範囲

学年	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
国語	○	○	○	○	○	○	○	○
算数・数学	○	○	○	○	○	○	○	○
英語							○	○
質問調査	○	○	○	○	○	○	○	○

(2) 実施方法 ペーパーテスト形式による調査

(3) 実施時期 小学校 令和7年4月21日（月）～25日（金）の中で1日

中学校 令和7年4月25日（金）

(4) 出題形式

教科の調査は、選択式、短答式、記述式とする。質問調査は選択式とする。

(5) 調査結果

教科の調査については平均正答率を全国平均との比較を行い、質問調査については、肯定的回答の割合で全国との比較を行うことにより、区内の児童・生徒の学習状況を把握する。

各教科の学年、観点ごとの平均正答率と全国平均値（％）

※網掛けは全国平均値を下回っている項目

		国語			
		知識・技能		思考・判断・表現	
		区	全国	区	全国
小学校	2年	94.3	92.6	77.1	74.4
	3年	90.8	90.3	79.0	75.5
	4年	84.0	82.9	72.4	68.3
	5年	73.1	68.4	67.6	63.0
	6年	74.1	71.7	72.4	69.9
中学校	1年	70.4	69.6	62.5	60.9
	2年	85.1	85.3	67.4	64.4
	3年	69.0	68.4	65.0	63.9

		算数・数学			
		知識・技能		思考・判断・表現	
		区	全国	区	全国
小学校	2年	86.5	86.3	70.1	70.0
	3年	84.3	84.4	66.4	63.0
	4年	83.6	79.8	48.3	41.9
	5年	78.8	75.6	57.7	52.8
	6年	69.7	65.6	58.5	55.6
中学校	1年	68.6	68.7	43.7	44.2
	2年	67.3	62.9	45.1	41.3
	3年	60.2	58.0	48.3	47.4

英語					
		知識・技能		思考・判断・表現	
		区	全国	区	全国
中学校	2年	71.0	66.2	56.4	50.7
	3年	66.4	62.7	61.4	55.6

○36項目中32項目で全国平均値を上回っている。特に「思考・判断・表現」については中学校1年生の数学以外はすべての教科、学年で全国平均値を上回っている。

○令和6年度は全国平均を下回っていた4項目について令和7年度は全国平均を上回った。

○中学校1年生、2年生の英語については、「知識・技能」「思考・判断・表現」とともに、全国平均を大きく上回っている。

▲中学校1年生数学については、「知識・技能」「思考・判断・表現」どちらも全国平均を若干下回っている。

※学力調査結果の総評については、【別紙1】参照。

【参考】令和6年度の各教科の学年、観点ごとの平均正答率と全国平均値（％）

※網掛けは全国平均値を下回っている項目

国語					
		知識・技能		思考・判断・表現	
		区	全国	区	全国
小学校	2年	91.3	91.9	78.7	76.1
	3年	82.5	82.1	85.1	80.9
	4年	79.3	77.6	63.7	60.1
	5年	72.1	68.9	60.7	56.4
	6年	67.0	65.3	66.5	63.4
中学校	1年	67.7	67.7	59.2	57.7
	2年	71.5	72.8	68.1	66.4
	3年	60.2	60.6	77.5	77.0

算数・数学					
		知識・技能		思考・判断・表現	
		区	全国	区	全国
小学校	2年	86.1	87.2	69.1	70.0
	3年	85.6	86.0	75.7	72.9
	4年	79.1	74.2	63.8	58.2
	5年	69.9	66.9	43.2	38.4
	6年	67.5	64.7	36.2	31.4
中学校	1年	68.1	68.2	56.1	54.3
	2年	58.2	54.9	44.3	42.0
	3年	47.1	43.6	45.4	42.6

英語					
		知識・技能		思考・判断・表現	
		区	全国	区	全国
中学校	2年	68.1	63.9	52.1	45.7
	3年	66.9	64.4	61.6	57.5

(6)「質問調査」の結果について

学年ごとの肯定的回答の割合と全国平均値(%)

※網掛けは全国平均値を下回っている項目

①本や新聞を読んでいる。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区	75.9	80.1	67.4	65.5	60.9	60.9	54.6	54.5
全国	70.3	76.7	59.9	58.3	55.7	50.9	45.9	43.0
②自分で学習の計画を立てている。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区			56.7	56.7	60.2	50.2	48.7	53.2
全国			54.9	55.3	56.1	53.3	50.3	52.3
③その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区			52.9	52.1	51.1	42.7	37.7	40.6
全国			55.3	52.6	51.6	45.9	38.6	38.8
④わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区	85.9	76.3	73.6	68.1	68.9	64.2	61.4	69.1
全国	83.4	77.6	73.1	70.2	69.3	68.6	62.0	67.1
⑤授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区			67.9	65.4	66.6	54.7	47.8	50.6
全国			64.8	65.5	65.5	61.6	51.3	50.6
⑥学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区	87.8	87.1	77.5	73.2	71.4	79.5	75.9	79.4
全国	84.5	87.1	78.1	74.2	73.7	81.5	74.8	75.9
⑦私は、自分たちの学習や生活をよくするための話し合いや活動に、進んで取り組んでいる。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区			72.3	74.0	75.4	70.2	71.5	76.2
全国			71.4	73.0	75.6	74.1	73.1	74.5

○区が進めている読書の推進については、①の質問の全国平均値との差を見ると令和6年度に引き続き、一定の成果が表れていることが分かる。

○⑦は、主体的に自分たちの学校生活について見直そうとする態度についての質問であるが、小学校4年生、5年生の肯定的回答が全国平均を上回った。令和6年度から、「子どもを主体とした学校教育」を区立学校の重点とし、児童・生徒が学校経営に参画する取組を各校で推進している成果であると考えられる。令和6年度から実施している「子どもの意見を反映させた教育活動」についても、今後さらに発展、継続していく。今後調査を続けていく中でそれらの成果がさらに表れてくることを期待している。

▲②から⑥の質問項目は学びに向かう力に関わる質問であり、全国平均と比較して課題が見られるものが多い。令和6年度と比べると、②④⑤は肯定的回答が全国平均を上回る学年が増えている。引き続き課題が大きいと考えられるのは③⑥の項目である。児童・生徒一人ひと

りが課題を見出し、見通しをもって解決して振り返るなどの問題解決的な学習を推進するとともに、児童・生徒が学習対象に対して興味関心をもてるような授業改善を続け、学びに向かう力を引き続き涵養する必要がある。

【参考】令和6年度の学年ごとの肯定的回答の割合と全国平均値（％）

※網掛けは全国平均値を下回っている項目

①本や新聞を読んでいる。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区	77.0	81.5	70.2	65.2	62.7	63.1	56.7	58.4
全国	73.2	78.1	61.9	60.6	59.3	55.4	50.6	47.5
②自分で学習の計画を立てている。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区			57.0	55.4	58.3	49.1	47.1	51.8
全国			56.3	56.8	56.8	53.6	51.4	52.4
③その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区			55.3	48.9	48.6	42.7	34.1	41.9
全国			57.0	54.1	51.6	46.6	39.2	40.0
④わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区	84.0	77.7	74.8	66.9	68.7	66.0	58.3	67.7
全国	84.7	78.0	74.2	70.7	69.0	69.1	62.5	66.0
⑤授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区			67.0	65.5	63.4	59.6	45.8	52.1
全国			65.0	66.5	65.4	62.3	51.4	51.2
⑥学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区	84.3	88.8	79.5	73.6	72.1	82.1	75.3	77.1
全国	84.9	87.8	79.0	75.7	73.7	81.2	75.2	74.8
⑦私は、自分たちの学習や生活をよくするための話し合いや活動に、進んで取り組んでいる。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区			72.7	72.2	72.0	69.4	68.4	76.3
全国			73.4	73.7	75.4	72.9	73.3	74.3

3 令和7年度の学力向上の取組

(1) 各校における授業改善

学力調査（区・都・全国）や、児童・生徒への質問調査などの結果を分析し、各校において、校内研究を充実させ、創意工夫ある授業改善に向けた取組を行っている。

(2) 学校教育向上事業

令和5年度5校（園）、令和6年度6校（園）を本事業の研究指定校とし、中野区の抱える教育課題について課題解決に向けた研究を支援してきた。令和7年度からは全校・園を指定校として、各校・園の特色ある研究を支援している。各校・園は年間1回以上「公開研究会」

を設定し、中学校区の学校・園の教員を中心に研究会に参加し、研究内容について共有、協議し、区立学校・園同士での研鑽を積んでいる。令和6年度からの指定校3校1園は、発表会を行い、その成果を区全体に発信し、全教員に還元する。

令和7年度研究発表校一覧

学校	日程	研究テーマ
かみさぎ幼稚園	令和7年10月31日(金)	自分も大事 相手も大事 とともに生きる かみさぎっ子 ～共感性を育む援助を探る～
啓明小学校	令和7年11月21日(金)	算数科における学びに向かう力の育成 ～数学的な見方・考え方を働かせる指導の工夫～
第二中学校	令和7年12月19日(金)	特別ニーズ教育に応じた、自ら学習を調整し、進める学びの充実
緑野小学校	令和8年 2月 6日(金)	自他を大切にし、互いに認め合えることのできる児童の育成 ～自他のよさを知り、他者とつながる力を育む授業づくりを通して～

※令和7年度学校教育向上事業研究テーマ一覧は【別紙2】参照。

(3) 学校教育向上事業 研究推進訪問

令和7年度より、年間8校(園)程度、教育委員会が各校・園の学校教育向上事業による研究を支援するため、学校・園に訪問し、授業観察及び校内研究について指導・助言を行っている。令和7年度は以下の9校(園)で実施をする。

令和7年度学校教育向上事業 研究推進訪問一覧

実施日	学校・園名	実施日	学校・園名
6月16日	ひがしなかの幼稚園	11月4日	武蔵台小学校
7月7日	北中野中学校	11月10日	中野東中学校
9月8日	平和の森小学校	11月17日	北原小学校
10月6日	明和中学校	12月8日	美鳩小学校
10月20日	江古田小学校		

(4) 中野区教育マイスター制度

年間4名の教員に対して、大学教授等を講師として、中野区教育マイスター候補者研修を行っている。中野区教育マイスターに認定された教員は、区内の教員の授業力向上及び授業改善のため、年間2回の授業公開を行っている。

1～3年次までの若手教員研修においては、中野区教育マイスターを講師として授業力向上研修を実施し、具体的な実践について学ぶ機会を設定している。

中野区教育マイスター認定教員一覧

令和5年度認定		令和6年度認定	
学校	教科等	学校	教科等
緑野小学校	国語	北原小学校	外国語
令和小学校	道徳	平和の森小学校	算数
緑野中学校	道徳	緑野小学校	社会
中野中学校	数学	中野中学校	保健体育

(5) 学力向上検討委員会

学力向上検討委員会(委嘱委員会)では、学識経験者を招聘し、校長や教員が授業力向上及び児童・生徒の確かな学力定着のための方策について検討する予定である。なお、令和6年度は、今後重点的に取り組んでいく英語教育について検討を行った。令和7年度は、学力調査の結果を基に「学びに向かう力」を涵養する授業の在り方について検討する予定である。

(参考) 令和7年度学力向上検討委員会 検討内容案

回	開催日	概要
1	10月下旬	学力調査等から分かる本区の児童・生徒の課題
2	11月中旬	「学びに向かう力」を涵養するための授業改善について検討
3	12月中旬	「学びに向かう力」を涵養するための授業改善について検討(学識)
4	1月上旬	本区の授業改善についての提案

(6) ICTを用いた学習指導

協働学習ツールを導入し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実に向けたICTを活用した学びを推進している。全国学力・学習状況調査の質問調査において国や都と比較してICTを活用した学習に関して肯定的な回答をしている児童・生徒の割合が多かった。

また、令和6年度より、区立小・中学校で共通のAI学習ドリル(ドリルパーク)を導入し、児童・生徒が自身の習熟度に合わせた学習に取り組めるよう活用を進めている。

全国学力・学習状況調査の質問調査の結果(%)

※網掛けは全国平均値を下回っている項目

① PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用した児童生徒の割合

	国	都	中野区
小学6年生	71.1	75.9	80.1
中学3年生	76.5	80.1	92.3

② ICT機器で文書を作成することができると思っている児童生徒の割合

	国	都	中野区
小学6年生	81.8	84.7	85.8
中学3年生	83.6	86.5	87.9

③ インターネットで情報を収集することができると思っている児童生徒の割合

	国	都	中野区
小学6年生	89.8	90.5	91.7
中学3年生	91.5	92.1	93.6

④ ICT機器で情報を整理することができると思っている児童生徒の割合

	国	都	中野区
小学6年生	69.3	73.8	75.9
中学3年生	63.3	66.9	69.3

⑤ ICT機器でプレゼンテーションを作成することができると思っている児童生徒の割合

	国	都	中野区
小学6年生	76.7	82.7	83.8
中学3年生	76.6	82.6	85.1

○国や都と比較して小・中学校ともにICTを週3日以上活用している割合が高く、情報活用能力(文書作成、情報収集、情報整理、資料作成など)の自己評価についても国や都を上回っている。特に中学校3年生の活用状況は、9割以上が週3回以上活用していると回答するなど、ICTを活用した授業が日常的に行われ、それによって情報活用能力を育成できていると考えられる。

(7) 学力調査の実施と振り返り学習

令和7年度も区の学力調査を行った(結果については「2 令和7年度『中野区学力に関

わる調査』から見る実態について」及び【別紙1】参照)。独自の学力調査を実施している趣旨は以下のとおりである。

- ①各学校において、自校の児童・生徒一人ひとりの学習状況や学年の傾向を踏まえて、教育課程や指導の改善・充実を図る。
- ②調査の結果を基に児童・生徒が自身の学習上の課題を認識し、その後の学習に役立てる。
- ③各教科の目標や内容に照らした学習の実施状況を把握し、区内小・中学校における教育課程の実施状況についての課題を明らかにして教育委員会の施策及び事業に生かす。

また、令和6年度から区立小・中学校で導入した共通のA I 学習ドリルと連携を図り、個別の振り返り学習に取り組めるようにしている。各校においては、児童・生徒がA I 学習ドリルで調査結果を基とした個別学習に取り組み、一人ひとりの学習到達度に応じた学び直しを行っている。

(8) 少人数習熟度別指導の実施、任期付短時間勤務教員の配置

全区立小・中学校において、算数・数学の習熟度別指導を、区立中学校7校において、英語の少人数指導を行っている。個に応じたきめ細やかな指導を推進し、児童・生徒一人ひとりに基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせるとともに、個性や可能性の伸長を図っている。

また、区独自に、任期付短時間勤務教員を採用し、チームティーチングや少人数指導の学習指導補助、放課後学習教室及び夏季休業中の補充学習等を行っている。令和7年度は34名が採用されている。20学級以上の大規模校には2名配置している。

4 今後の重点取組

(1) 「子どもを主体とした学校教育」の充実

児童・生徒が主体的に自分たちの学校生活を見直す取組等を引き続き推進していく。生活面での充実を図ることによって、一人ひとりの児童・生徒の達成感や成就感、自己肯定感及び他者とのつながりが高まる。このことが学習への意欲向上につながり、結果として学力向上に資すると考えられる。

(2) 探究的な学びの推進

児童・生徒に3つの資質・能力をバランスよく育成するようにしていく。そのために、各教科等の学習において児童・生徒が主体となって課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う等の「探究的な学び」を各校で展開できるようにする。「指導の個別化」と「学習の個性化」の視点からの授業改善を推進していく。

引き続き、全校・園を学校教育向上事業研究指定校とし、教育委員会として各校・園の創意工夫ある研究を支援していく。

(3) 個に応じた指導の充実

小学校低学年での学習のつまずきが、学年が上がってからの学習意欲の低下や学校生活の不適應につながることもある。低学年から個に応じた指導の充実を図る必要がある。

小学校1～3年生に配置しているエデュケーション・アシスタントについて、学習支援面

での充実を図っていく。また、任期付短時間勤務教員を活用し、個に応じた指導の充実を図っていく。さらに、区内全校に導入した共通のA I 学習ドリルによる個別学習を引き続き推進させ、学力調査の結果と連携を図った振り返り学習も行っていく。

(4) 教師の指導力向上及びI C T活用のさらなる推進

「学校教育向上事業」における学力向上に向けた優れた取組について、多くの学校で実践し、教員間で共有できるよう、全校を研究校に指定することとした。授業改善の取組が各校で創意工夫あるものになるよう本事業を検証、推進していく。

I C Tの活用については、他の自治体と比べて進んでいることが分かったが、令和8年の端末リプレイスにあたり、A I 学習ドリルを使った個別学習や協働学習ツールを使った協働学習をさらに充実させ、児童・生徒の資質・能力を育成していくため、教員研修を充実していく。

(5) 読書活動の推進

児童・生徒の読書に対する意欲を高めるために、蔵書の充実や、学校図書館指導員の配置など、学校図書館の量的・質的充実を図ってきた。質問調査からその成果が表れていることが分かる。令和7年度は小学校6校に電子書籍アプリを試行導入し、活用率の高い学校では、月間7千冊を読了するなど、その成果も表れている。令和8年度からは電子書籍アプリを全小学校に導入することを予定している。児童・生徒がより読書に親しむことができるようにするとともに、主体的に学習に取り組む態度を育てていく。

(6) 英語教育の充実

低学年の外国語活動や、A L T配置時間数増、中学校1年生イングリッシュキャンプ、英語検定補助など、区内の児童・生徒が英語に慣れ親しみ、興味・関心をもてるような事業を行ってきたが、その成果が学力調査にも表れている。

今後、更に児童・生徒に「生きた英語力」を身に付けさせていくために、A L Tを活用した授業の展開や、A I 英語学習アプリの導入などを進めていく。

(7) 家庭学習の充実

家庭学習の習慣を児童・生徒に身に付けさせることが学力向上につながる。児童・生徒の個別の学習状況や、学校の教育活動を保護者へ伝え、家庭学習を充実させることができるようにするなど、一人ひとりの家庭学習習慣の確立とその充実のために家庭との連携を図る。